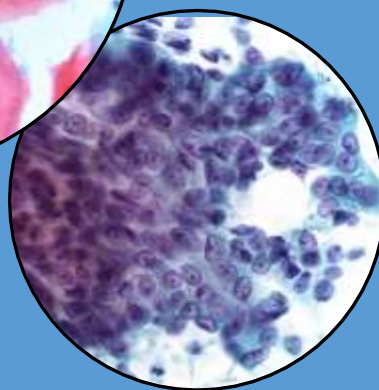
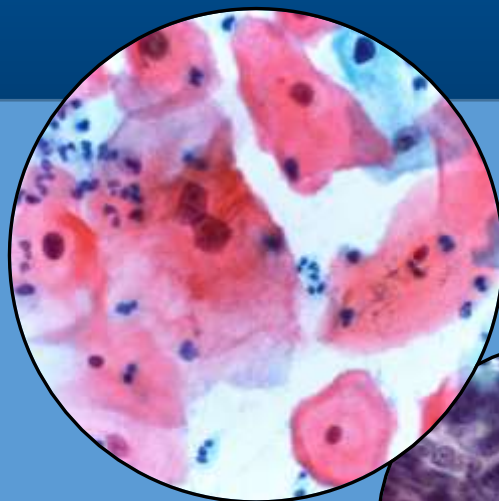


# 業 務 案 内

2023 年改訂版



大阪府医師会保健医療センター

細胞診・病理組織診断科

大阪市天王寺区清水谷町 19 番 14 号

TEL (06) 6768-1325

FAX (06) 6768-1543

## 大阪府医師会保健医療センター 個人情報保護方針

平成17年4月1日 実施  
平成19年4月1日 一部改正  
平成21年4月1日 一部改正  
令和元年6月25日 一部改正

大阪府医師会保健医療センター（予防接種センターを含む。以下「当センター」という）は、個人情報の保護を事業運営上の基本的事項のひとつと位置づけるとともに、患者、受診者、受検者、被検者、被接種者等の個人情報を適切に取扱うことが当センターの社会的責務であると認識し、次のとおり個人情報保護方針を定め、これを誠実に遵守することに努めます。

### 1 個人情報の収集、利用および提供について

個人情報の収集は、目的を明確にし、事前に本人の同意を確認できる適切な方法で行います。また、個人情報の利用、提供は、法令の定めに基づき、事前に明確にした目的の範囲内でのみ行います。医療の向上を目的として検査結果を活用する場合がありますが、個人を特定できるような形での利用はいたしません。

### 2 個人情報の適正管理について

収集した個人情報について、適切な安全対策を実施し、不正アクセス、改ざん、破壊、漏洩、紛失などを防止するために合理的な措置を講じます。

### 3 個人情報の開示、訂正請求等への対応について

個人情報について本人から開示の求めがあった場合は、合理的な期間、妥当な範囲内で対応します。また、個人情報に誤り、変更があって、本人から訂正等の求めがあった場合は、合理的な期間、必要な範囲内で対応します。

### 4 法令およびその他の規範の遵守について

個人情報保護管理責任者を設置し、個人情報に関して適用される法令およびその他の規範を遵守します。

### 5 個人情報の保護、管理の継続的改善について

個人情報の保護、管理について継続的に見直し、その改善に努めます。

### 6. 苦情および相談への対応について

当センターで取扱う個人情報に関する苦情・相談・問い合わせは下記にて受け付けております。

〒543-0011

大阪市天王寺区清水谷町 19-14

大阪府医師会保健医療センター 事務局

TEL 06-6768-1450

大阪府医師会保健医療センター  
代表者 高井 康之

# 目次

## ご利用の手引き

1、取引のお申込み	1
2、業務内容	1
3、検査のご依頼方法	1
① 依頼書	1
② 依頼書の記入要領と検体ラベルの記入方法	1
4、検体のご提出と搬送方法	1
5、結果のご報告	1
6、残余検体（残余材料）の保管期間	2
細胞診材料（残余材料）	2
7、免責について	2
8、料金請求とお支払い方法	2
9、検査結果のお問合せ	2
10、専門医	2

## 細胞診検査

<検査概要>	3
<所要日数>	3
<細胞診検査の注意事項>	3
<細胞診標本の保管期間>	3
<細胞診検査容器>	3
細胞診材料の提出についての注意事項	4
細胞診の結果報告書（判定基準等）	6

# ご利用の手引き

## 1、取引のお申込み

お電話をいただければ当方の職員が、詳しくご説明し、資料をお届けいたします。

電話：06-6768-1325 FAX：06-6768-1543

## 2、業務内容（衛生検査所登録業務）

病理学的検査（細胞診）

## 3、検査のご依頼方法

### ① 依頼書

それぞれの依頼項目に適した依頼書兼結果報告書をご使用ください。

[ 種類 ]

1. 細胞診検査依頼書兼結果報告書（婦人科）

### ② 依頼書の記入要領と検体ラベルの記入方法

病理学的検査（細胞診検査）は各種臨床情報が必要となります。必要な内容の詳細については下記をご参照ください。

1. 細胞診検査（婦人科）：4 ページ参照

## 4、検体のご提出と搬送方法

検体の搬送は郵便を利用する方法と集配担当員による方法の2つがあります。（地域により、搬送方法が異なりますので、詳細についてはお問合せください）

- ① 郵便をご利用される場合は、郵送用の封筒、標本ケース等をお届けいたします。
- ② 集配をご利用される場合は、院内で検体をまとめて集配担当員へご提出ください。

## 5、結果のご報告

- ① 結果は、集配担当員、郵便にてお届けいたします。
- ② 結果を急がれるときは、検査依頼時にあらかじめ「至急」とご指示ください。検査結果が判明次第、FAX 等で対応させていただきます。
- ③ 報告書  
細胞診検査は「細胞診依頼書兼結果報告書」に「標本の質的評価」「細胞診判定」「細胞診に基づく見解」を記入しご報告いたします。（6～7 ページ参照）
- ④ 個人情報の取扱いについて  
個人情報保護規定に基づき、検体受託から結果報告まで適切に対応いたします。

## 6、残余検体（残余材料）の保管期間

### 細胞診材料（残余材料）

液状検体（保存液に入った検体）としてお預かりした検体は1週間保管し、再検査や追加検査のご要望にお応えしております。保管期間が過ぎた検体につきましては、当方の規程に従い処分させていただきます。（検査に検体をすべて使用した場合は除きます。）

## 7、免責について

ご依頼いただきました検査は当施設検査実施基準に基づき行われますが、お預かりした検体の状態、または検査方法の技術的限界により検査結果を臨床診断に資することが困難な場合があります。この場合その検査結果に対し免責とさせていただきます。

## 8、料金請求とお支払い方法

料金のご請求は1ヵ月をまとめてご請求申し上げ、支払い方法はご契約に従ってお支払いいただきます。

## 9、検査結果のお問合せ

検査結果のお問合せ、ご意見、ご指摘等につきましては、下記のお問合せ先にお電話もしくはFAXください。

問合せ先：大阪府医師会保健医療センター 細胞診・病理組織診断科

電話：06-6768-1325 FAX：06-6768-1543

## 10、専門医

細胞診は、公益社団法人日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医と細胞検査士がダブルチェックしております。

大阪府医師会の直営の施設として、会員の先生方に「高い精度」で「安心」と「信頼」をお届けできるように職員および各専門医の先生方、そして協力医療機関等と力を合わせて努力してまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 細胞診検査

## <検査概要>

No	検査項目	提出材料	容器	保存	検査方法	実施料
1	細胞診 (婦人科)	塗抹スライド(湿固定) 1~2枚 子宮頸部、子宮体部、外陰部、膣壁 膣断端など	T	室温	パパニコロウ染色	1部位につき 150点
	婦人科LBC	※容器等についてはお問合せ下さい				150点+36点

\* 検体でご提出される場合および標本の作製方法については5ページをご参照ください。

## <所要日数>

所要日数は検体をお預かりした日から起算して4~7日です。

但し、国民の休日、盆休み(8月13日~16日)、年末年始の休み(12月29日~1月4日)が入る場合は、所要日数に加算した日数がかかります。

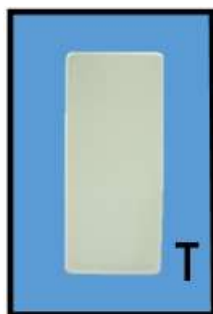
## <細胞診検査の注意事項>

細胞診検査は、必ずしも確定診断ではありません。診断はご提出していただいた標本においてくださったもので、病変全体を反映するものではないことを、あらかじめご承知おきください。確定診断には病理組織診断等により総合的に判断されることをお勧めします。

## <細胞診標本の保管期間>

- ① 細胞診陰性標本は当方にて5年間保管させていただきます。
- ② 細胞診疑陽性・陽性標本は当方にて10年間保管させていただきます。
- ③ パパニコロウ染色標本等のご返却をご希望の際には当方保管分をお引渡しいたしますので、依頼書に「標本返却」とご記入ください。なお、返却後の診断等についてのお問合せの際には、当該標本をご提出いただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- ④ 保管期間を過ぎた標本は当方の規程により適切に廃棄いたします。

## <細胞検査容器>



# 細胞診材料の提出についての注意事項(1)

## <依頼書、スライドガラス、輸送用標本ケースの記入例>

### a. 婦人科

依頼書には下記の事項を必ずご記入ください。

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| ① 氏名、生年月日、住所、電話番号 | ④ 採取日、採取部位、採取器具 |
| ② 月経暦、妊娠・分娩歴      | ⑤ 細胞診の既往検査歴     |
| ③ 投薬・処置治療経過       | ⑥ 臨床診断          |

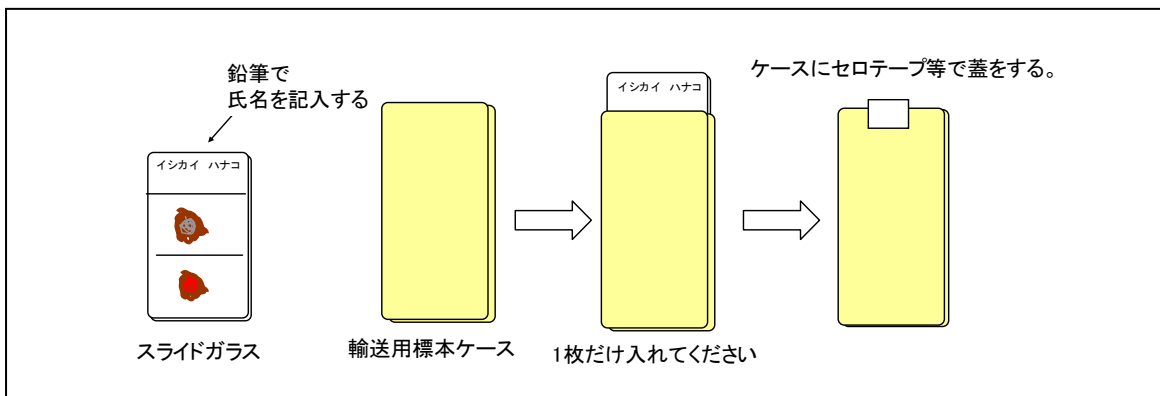
## 婦人科細胞診(医療)依頼書 I 医療機関控

依頼者	コード	010010		太線内をボールペンで強く記入してください。	
	所在地	〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町19-14		採取日	24年5月5日
	医療機関名	医師会病院		既往検査歴	採取部位(採取器具)
	医師名	医師会 弘太郎 様		1. なし(初回)	○合計標本枚数( 1 枚)
電話番号	TEL ( 06 ) 6768-1325		2. 定期検診	1. 頸部(V <u>C</u> <u>E</u> )	
外来入院	科	担当医師	カルテ番号	3. 追跡管理中	a サイトピック
	病棟	大阪太郎	C5001	4. 再検査	<u>b</u> サイトブラシ c 綿棒
受診者	フリガナ(カタカナ)	イシカイ ハナコ		5. HPV検査	2. 体部(EM・IUD付着物)
	氏名	医師会 花子		年 月 日	子宮腔長( cm)
	生年月日	(明治・大正・昭和・平成) 41年 5月 1日( 才)		(結果:陰性 陽性)	a エンドサーチ
	住所	大阪 市・郡 天王寺 区・町以下不要		6. コルポ・生検	b エンドサイト
	TEL	( 06 ) 6768 -1325		年 月 日	c 内膜ブラシ d 吸引
月経歴	最終月経 24年 4月 1日より 7日間		前回検査	4. 外陰部 5. 陰道	
妊娠・分娩歴	順( 日型) <u>不順</u> 閉経( 才) 分娩 2回		検査No	7. 膣壁	
投薬・処置治療経過	1. 円錐切除( 年 月 日) 2. HRT 3. 放射線治療後		臨床診断		
	4. レーザー・高周波治療 5. 子宮摘出(全・上部)		1 がん疑(頸部・体部・他)	6 子宮筋腫	<u>10 月経異常</u>
	6. その他		2 膣部ビラン	7 付属器腫瘍	11 更年期出血
			3 頸管炎	8 付属器炎	12 子宮内膜炎
			4 ポリープ	9 閉経後出血	14 所見なし
			5 膣炎	13 その他	

スライドガラスには氏名を必ずご記入ください。

輸送用標本ケースには、1枚のスライドガラスを入れてください。2枚入れると割れる場合があります。

同じ方で複数箇所から採取された場合は、スライドガラスに材料名をご記入ください。(頸部、体部など)



## 細胞診材料の提出についての注意事項(2)

### 標本作製時の注意事項

塗抹の仕方は下記の要領で塗抹してください。

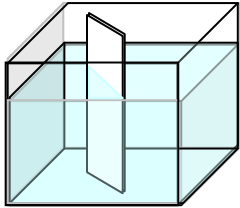
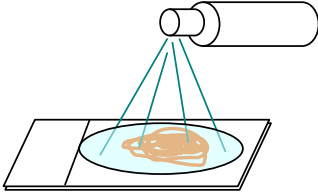
検体材料	標本作製時の注意事項	枚数	固定方法	染色法
婦人科 頸部、内膜、膣部など	ブラシ、綿棒等で塗抹後、直ちに湿固定する。 ※乾燥注意	1~2枚	湿固定	パピニコロウ染色

※下記の「標本の固定方法」を必ずご参照ください。

## 細胞診材料の提出についての注意事項(3)

### 標本の固定方法

固定は細胞の変性・融解などの変化を停止させる作業です。したがって塗抹後、直ちに(1秒以内)に固定する必要があります。固定の良否は細胞診判定を左右する重要な因子の一つですので迅速な固定をお願いします。

湿固定	
 <p>95%エタノール</p> <p>塗抹後、1秒以内に95%エタノールに漬け、30分以上浸漬する。 提出前にスプレー式固定液をガラス表面に十分噴霧する。</p>	 <p>スプレー式固定液</p> <p>塗抹後、1秒以内にスプレー式固定液を噴霧した後乾燥させる。 ムラが生じないように塗抹面に十分噴霧する。</p>



# 細胞診の結果報告書(1)

細胞診結果報告書は、「細胞診標本の質的評価」、「細胞診判定」、「細胞診に基づく見解」の3つの項目からなります。

## 1、細胞診標本の質的評価

標本上に目的とする細胞が出現していて、細胞形態を観察分析するのに支障のない状態であるか否かを明確にすることで（細胞学的判断を下し得る標本かどうかを明確にする）、細胞診による誤判定をできる限り少なくすることを目的としています。

標本の質的評価を（適正、不十分、不適正）と表現する。

- A. 適正 ○標的細胞が判定を行うことに十分な数だけ出現していること。  
○細胞構造の保存性がよいこと。  
○標本作製（塗抹、固定）が良好であること。  
○必要な臨床情報が提供されていること。
- B. 不十分 細胞判定を行う上で十分でない標本の状態が存在するとき、とりあえず判定を行うが、標本状態を明記し細胞診結果の取扱いに注意を与える。
- C. 不適正 判定を保留し、その理由を記す。  
例) 採取部位の標的細胞が少ない。  
細胞の変性が強く細胞性格の推定が困難である。  
炎症変化が強く標的細胞の確認が困難である。  
塗抹が厚すぎて標的細胞の確認が困難である。  
固定が不十分で細胞構造の保存が悪い。  
採取部位以外の細胞が多く標的細胞が少ない。  
的確な臨床情報が提供されていないため病態把握が困難である。  
標本の破損がひどく修復困難である。

注) 婦人科細胞診において、平成 23 年度より細胞診判定に日本産婦人科医会分類（以下ベセスダシステム）を従来のクラス分類と併記するようになりました。数年後には完全にベセスダシステムに移行する予定です。ベセスダシステムに完全移行することで問題となるのが、標本の評価です。ベセスダシステムの標本の評価は「適正」と「不適正」の2分類で、評価基準も従来に比べ厳しくなりますのでご注意ください。

### ベセスダシステムの「不適正」の評価基準

- ・標本の75%が乾燥しているため、上皮の異常を評価するには不適正である。
- ・出現している扁平上皮細胞の細胞数が少数（8000個未満）であるため上皮の異常を評価するには不適正である。
- ・出現している扁平上皮細胞の75%が炎症細胞もしくは血液等によって覆われているため、上皮の異常を評価するには不適正である。

# 細胞診の結果報告書(2)

## 2、細胞診判定

### 婦人科細胞診

#### < 子宮頸部判定 >

平成 23 年度より従来のクラス分類と日本産婦人科医会分類を併記しております。

#### ○日本産婦人科医会分類（ベセスダシステム）

ベセスダ分類	用語の説明	推定病変
NILM	陰性	炎症・微生物 その他の非腫瘍性所見
扁平上皮系異常		
ASC-US	意義不明な異型扁平上皮細胞	軽度扁平上皮内病変疑い
ASC-H	HSIL を除外できない 異型扁平上皮細胞	高度扁平上皮内病変疑い
LSIL	軽度扁平上皮内病変	HPV 感染 軽度異形成
HSIL	高度扁平上皮内病変	中等度異形成 高度異形成 上皮内癌
SCC	扁平上皮癌	扁平上皮癌
腺系異常及びその他の悪性腫瘍		
AGC	異型腺細胞	腺異型または腺癌疑い
AIS	上皮内腺癌	上皮内腺癌
Adenocarcinoma	腺癌	腺癌
Other malign.	その他の悪性腫瘍	その他の悪性腫瘍

#### ○クラス分類（日本母性保護医協会分類）

- ◇ クラスⅠ：正常
- ◇ クラスⅡ：異常を認めるが良性
- ◇ クラスⅢ：悪性を疑うが断定できない。
  - Ⅲa：悪性を少し疑う。軽度異形成を想定する。またトリコモナス膣炎、組織修復、濾胞性頸管炎、頸管ポリープなどで良性異型の程度の強いものが入ってくる可能性あり。このクラスより5%程度に癌が検出される。
  - Ⅲb：悪性をかなり疑う。高度異形成を想定する。このクラスより約50%程度に癌が検出される。
- ◇ クラスⅣ：きわめて強く悪性を疑う。上皮内癌を想定する。
- ◇ クラスⅤ：悪性である。浸潤癌（微小浸潤癌）を想定する。

<子宮体部判定>： 陰性 疑陽性 陽性

## 3、細胞診に基づく見解

<p>&lt;再 検&gt;</p> <p>① 判定不能の場合</p> <p>② 誤陰性、誤陽性を避けるため再検によって確認したい旨を要望する場合</p> <p>③ 標本から推定される病変以外に、より進行した病変など共存の可能性が疑われる場合</p>	<p>&lt;要追跡管理&gt;</p> <p>前癌病変や手術後などで追跡管理の必要性を指摘する場合</p> <p>&lt;要精密検査&gt;</p> <p>悪性もしくは悪性を疑う病変や非腫瘍性病変が推定され、精密検査の必要性を指摘する場合</p>
---	--

参考文献一覧	著者名	出版社
臨床検査法提要 改訂第 29 版	金井 泉	金原出版
Cytopathology of Sarcomas and other	S.I.HAJDU, E.H.HAJDU	W.B.SAUNDERS
KOSS Diagnosite Cyto. and its Histopathologic bases vol.1 3 edition	Leopold G.Koss	LIPPINCOTT
KOSS Diagnosite Cyto. and its Histopathologic bases vol.2 3 edition	Leopold G.Koss	LIPPINCOTT
WHO Cytology of nongynaecological sites INTERNATIONAL HISTORICAL CLASSIFICATION OF TUOMORS No.17	WHO	
Monographs in Clinical Cytology vol.4 Aspiration Biopsy Cytology Part I	Nelson D. Holmquist	S.Karger
Nonographs in Clinoccal Cytology vol. 5 cytology of transudates and Exadates	Josef Zajicek	S.Karger
Monographs in Clinical Cytology Vol.6 Diagnostic Cytology of the Urinary Tract	Stanley F. Pattern,jr	S.Karger
Diagnostic Pulmonary Cytology(Saccomanno)	GENO SACCOMANNO	Amerinan Society of Clinical Pathologist
Histological Typing of Urinary Bladder Tumours	WHO	
Surgical Pathology vol.1 ROSAI AND ACKERMAN'S	Juan Rosai	Mosby
Surgical Pathology vol.2 ROSAI AND ACKERMAN'S	Juan Rosai	Mosby
Progress in Surgical Pathology vol.1	Edited by C.M.Fenoglio/M.Wolff	masson P.USA
Progress in Surgical Pathology vol.2	Edited by C.M.Fenoglio/M.Wolff	masson USA
Progress in Surgical Pathology vol.3	Edited by C.M.Fenoglio/M.Wolff	masson USA
Color Atlas of Cancer Cytology Second Edition	Masayoshi Takahashi	医学書院
TNM Classification of Malignant Tumours	P.ヘルマネック/L.H.ソビン	KANEHARA
Surgical pathology COULSON vol.1	W.F.COULSON	J.W.Lippincott
Surgical pathology COULSON vol.2	W.F.COULSON	J.W.Lippincott
PATHOLOGY OF SOFT TISSUE TUMORS	STEVEN I.HASDU	LEA & FEBIGER
SECOND CERIES 2 TUMORS OF THE BREAST	R.W.McDIVITT/F.W.STEWART/J.W.BERG	AFIP
SECOND SERIES 16 TUMORS OF THE OVARY AND MALDEVELOPED GONADS	BOBERT E.SCULLY	AFIP
Exfoliative cytopathology second edition Series in Laboratory Medicin	Zuber M.Naib	Little,B.and C.B.
ANALYTICAL AND QUANTTTATIVE CYTOLOGY VOL.1 1979		
ANALYTICAL AND QUANTTTATIVE CYTOLOGY VOL.2 1980		
医動物学/付 実験用動物学 臨床検査講座 8		医歯薬出版
検査機器総論 臨床検査講座 1 0		医歯薬出版
病理学/病理組織細胞学 臨床検査講座 2 0		医歯薬出版
臨床免疫学 臨床検査講座 2 3		医歯薬出版
図説 臨床検査法 基本臨床化学	奥田清	医歯薬出版
ハイルマイヤー臨床血液学図譜	H.Begemann/J.Rastetter	医学書院
希少症例の細胞診	天神美夫 服部正次編集	文光堂
婦人科鑑別細胞診図譜	野田定	医歯薬出版
人体組織図譜	藤田恒夫/武藤正樹/栗原幸二	南江堂
臨床組織病理学	宮地徹編	杏林書院
図説臨床産婦人科講座 第 7 巻 絨毛性腫瘍		メジカルビュー社
現代産婦人科学大系 第 1 巻 B 臨床解剖学Ⅱ	鈴木雅洲 坂元正一 倉知敬一編集	中山書店

参考文献一覧	著者名	出版社
病理組織標本作製技術上巻 切り出しから薄切	日本病理学会編	医歯薬出版
病理組織標本作製技術 下巻染色法	日本病理学会編	医歯薬出版
病理業務の法知識 病理技術マニュアル1	日本病理学会編	医歯薬出版
日本血液学全書3 臨床血液総論	日本血液学会編	丸善株式会社
臨床検査MOOK1 診断のための検査の組み合わせ	阿部正和	金原出版
産婦人科MOOK2 子宮癌と膣・外陰部	滝一郎編集企画	金原出版
臨床検査MOOK21 細胞診	山中学等、信田重光等	金原出版
産婦人科MOOK22 細胞診のポイント	野田起一郎 編集企画	金原出版
病理学図譜	慶応義塾大学医学部病理学教室	医学書院
細胞診総論と基礎	田中昇	八木書店
産婦人科病理学診断図譜	宮地徹、森脇昭介、桜井幹己共著	杏林書院
細胞診教本 その基礎と実際	田中昇編集	宇宙堂八木書店
病理組織標本のアーチファクトー正しい標本作製とその鑑別	S.W.Thompson/L.G.Luna	医歯薬出版
病理組織の見方と鑑別診断 第2版	浜崎幸雄 小川勝士監修	医歯薬出版
早期肺癌カラーアトラス	佐藤博敏、斎藤泰紀、橋本邦久	金原出版
産婦人科臨床教本	須川信編	六法出版
鑑別を主体とした細胞診断学	木村禎代二監修、田嶋基男、柴田衛雄	名古屋大学出版
カラーアトラス 子宮体癌検診	蔵本博行	医歯薬出版
早期肺癌ー内視鏡所見を中心にー	早田義博監修、加藤治文、宝来威編集	金原出版
改訂 産婦人科病理学診断図譜	宮地徹、森脇昭介、桜井幹己	杏林書院
現代の婦人科細胞診	杉下匡、長谷川寿彦、山片重房	金原出版
実践病理組織細胞学カラー図鑑	田所衛監修、石川喜美男、小沼利光	HBJ 出版局
疾患別画像電顕アトラス「4 腎・泌尿器・生殖器」	木村隆、中島徳郎 e t c	KINPODO
取扱い規約に沿った腫瘍鑑別診断アトラス 甲状腺	坂本穆彦	文光堂
取扱い規約に沿った腫瘍鑑別診断アトラス 乳腺	坂元吾偉	文光堂
乳腺の細胞診	武田鉄太郎	武藤化学薬品
肺癌細胞診とその周辺	武田鉄太郎	武藤化学薬品
細胞診の基本 下巻 各論	田中昇、田嶋基男	武藤化学薬品
臨床検査のてびき	広島市医師会臨床検査センター	
目で見る胎盤病理	中山雅弘	医学書院
細胞診特論	田嶋基男	中山書店
メディコピア32 脳はどこまでわかるか		Fujirebio
メディコピア37 腎臓病 最近の話題		Fujirebio
子宮頸がん検診とヒトパピローマウイルス	日本細胞診断学推進協会	
Thinlayer 標本アトラスー泌尿器科領域(尿)細胞診		MBL
Thinlayer 標本アトラス 婦人科細胞診		MBL
胆管・膵管細胞診カラーアトラス	日本細胞診断学推進協会	
産婦人科MOOK10 卵巣腫瘍・卵管癌と絨毛性疾患	滝一郎編集企画	金原出版
ベセスダシステムの基礎と実践 その理解のために	日本細胞診断学推進協会	MUTO

参考文献一覧	著者名	出版社
医学大辞典 縮刷版		南山堂
子宮内膜症取扱い規約第1部 1993年9月第1版	日本婦人科学会	金原出版
絨毛性疾患取扱い規約 1995年改訂第2版	日本産科婦人科学会 日本病理学会	金原出版
卵巣腫瘍取扱い規約 1997年8月改訂第2版	日本産科婦人科学会	金原出版
悪性軟部腫瘍取扱い規約 2002年7月第3版	日本整形外科学会	金原出版
精巣腫瘍取扱い規約 2005年3月第3版	日本泌尿器科学会 日本病理学会	金原出版
ベセスダシステム 2001アトラス	D.Solomon, R.Nayar	シュブリンガー・J
胃癌取扱い規約 2017年10月 第15版	日本胃癌学会編	金原出版
スキルアップサイトロジー呼吸器・泌尿器	日本細胞診断学推進協会	武藤化学
細胞診カラーアトラス サイトズーム	千葉県細胞検査士会監修	近代出版
精度管理のための自己採点方式細胞診スライドカンファレンス問題集	日本臨床細胞学会大阪府支部会	近代出版
腎盂・尿管・膀胱癌取扱い規約 2011年4月第1版	日本泌尿器科学会・日本病理学会 etc.	金原出版
BD LBC Reference Book 体腔液編	山城勝重・平紀代美	日本ベクトンD.
実践甲状腺・唾液腺細胞診	日本細胞診断学推進協会	武藤化学
乳腺細胞診図譜	CHANDRA GRUBB 坂井義太郎訳	医学書院
ThinPrep 細胞像アトラス	長村義之	ホロジック
胆道癌取扱い規約 2013年11月 第6版	日本肝胆膵外科学会	金原出版
腎癌取扱い規約 2011年4月 第4版	日本泌尿器科学会 etc.	金原出版
前立腺癌取扱い規約 2010年12月 第4版	日本泌尿器科学会 etc.	金原出版
子宮頸癌取扱い規約 2017年7月 第4版	日本産婦人科学会・日本病理学会 etc.	金原出版
子宮体癌取扱い規約 2017年7月 第4版	日本産婦人科学会・日本病理学会 etc.	金原出版
乳癌取扱い規約 2012年6月 第17版	日本乳癌学会	金原出版
大腸癌取扱い規約 2013年7月 第8版	大腸癌研究会	金原出版
臨床検査法提要 改訂第34版	金井正光	金原出版
細胞診ガイドライン<2015年版1>婦人科・泌尿器	公益社団法人 日本臨床細胞学会	金原出版
細胞診ガイドライン<2015年版2>乳腺・皮膚・軟部骨	公益社団法人 日本臨床細胞学会	金原出版
細胞診ガイドライン<2015年版4>呼吸器・胸腺・体腔液・リンパ節	公益社団法人 日本臨床細胞学会	金原出版
細胞診ガイドライン<2015年版3> 甲状腺・内分泌・神経系	公益社団法人 日本臨床細胞学会	金原出版
細胞診ガイドライン<2015年版5> 消化器	公益社団法人 日本臨床細胞学会	金原出版
新報告様式に沿った泌尿器細胞診カラーアトラス	泌尿器細胞診カンファレンス	武藤化学
副腎腫瘍取扱い規約 2015年3月 第3版	日本泌尿器科学会・日本病理学会 etc.	金原出版
食道癌取扱い規約 2015年10月 第11版	日本食道学会	金原出版
悪性骨腫瘍取扱い規約 2015年11月 第4版	日本整形外科学会・日本病理学会	金原出版
甲状腺癌取扱い規約 2015年11月 第7版	日本甲状腺外科学会	金原出版
癌取扱い規約 抜粋 消化器癌・乳癌 第11版		金原出版
1冊でわかる皮膚病理	北村鉄宣・宮地良樹・清水宏	文光堂
実践細胞診テキスト・初心者からエキスパートまで	松浦成昭・南雲サチコ・森井英一	大阪大学出版社
肺癌取扱い規約 2017年1月 第8版	日本肺癌学会	金原出版
膵癌取扱い規約 2016年7月 第7版	日本膵臓学会	金原出版
卵巣腫瘍・卵管癌・腹膜癌取扱い規約 病理編 2016年7月 第1版	日本産科婦人科学会 日本病理学会	金原出版

## 2023 業務案内

発行 大阪府医師会保健医療センター  
細胞診・病理組織診断科  
〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町 19 番 14 号

2023 年 5 月 1 日現在の内容です。

